

5. イタチ捕獲数の経年変化

5.1 下地島におけるイタチ捕獲数の経年変化

5.1.1 検証方法

下地島で面的に捕獲を開始した令和2年度から令和3年度の3か月ごとの捕獲状況を比較した。なお、コロナの影響により、点検を実施できなかった月があった。

5.1.2 検証結果

令和2年度からの下地島における3か月ごとのイタチ捕獲数とCPUE、増減率、捕獲地点を示した(表5-1、表5-1～図5-2)。表の増減率は令和2年度比とした。

2年間のCPUEをみると、R2年度とR3年度と比較するとCPUEが約43%減少している。3か月ごとでみると、両年共に7～9月にCPUEが高い値を示し、10～12月から1～3月にかけて減少している。7～9月にCPUEが高い値を示した要因としては、捕獲結果で示されているように亜成獣の分散が始まり、捕獲数が増加したものと考えられる。

表 5-1 令和2年度及令和3年度における3か月ごとの捕獲数とCPUE

年度	月	捕獲数	TD	CPUE	増減率
R2年度	4-6月	17	2,244	0.758	-
	7-9月	43	2,720	1.581	-
	10-12月	49	8,822	0.555	-
	1-3月	61	17,290	0.353	-
	合計	170	31,076	0.547	-
R3年度	4-6月	24	9,416	0.255	66%減少
	7-9月	23	4,650	0.495	69%減少
	10-12月	63	14,402	0.437	21%減少
	1-3月	14	11,359	0.123	65%減少
	合計	124	39,827	0.311	43%減少

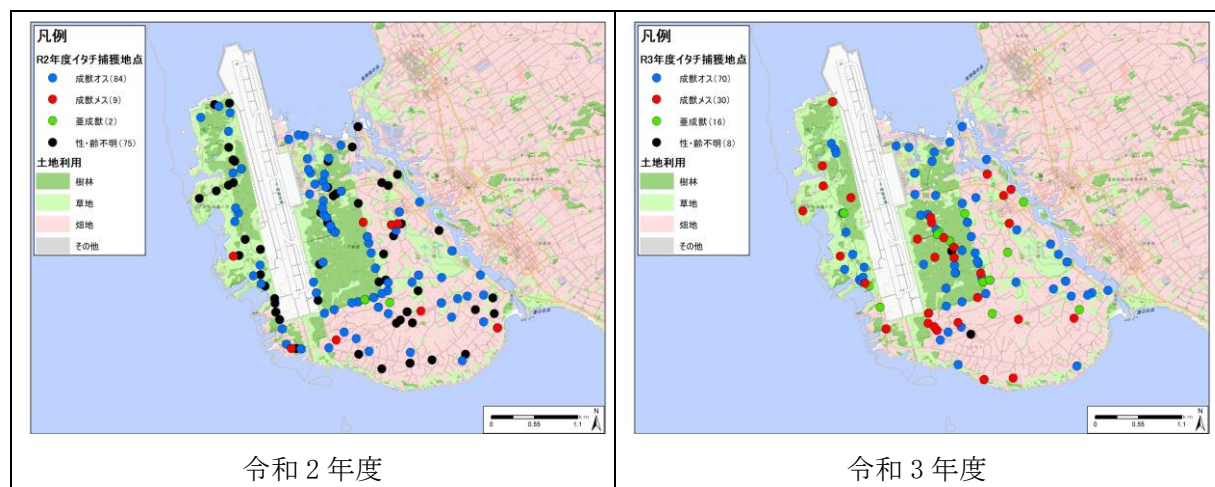


図 5-1 令和2年度及び令和3年度のイタチ捕獲地点

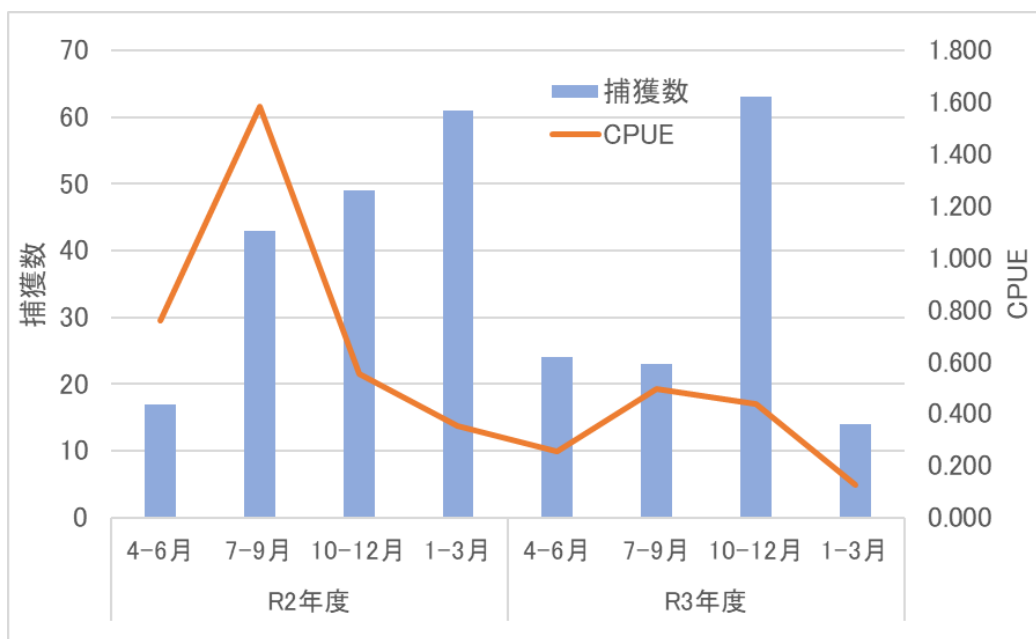


図 5-2 令和 2 年度及び令和 3 年度における 3 か月ごとの捕獲数と CPUE の変化

5.2 空港西側におけるイタチ捕獲数の経年変化

5.2.1 検証方法

下地空港西側で面的に捕獲を開始した令和2年度から令和3年度の3か月ごとの捕獲状況を比較した。

5.2.2 検証結果

これまでの下地空港西側における3か月ごとのイタチ捕獲数及びCPUE、増減率、捕獲地点を示した(表5-2、図5-3、図5-4)。表の増減率は令和2年度比とした。

令和2年度と令和3年度の結果を比較すると、R2年度とR3年度と比較するとCPUEが約48%減少している。3か月ごとでみると、両年共に7~9月にCPUEが高い値を示し、10~12月から1~3月にかけて減少している。

表 5-2 下地空港西側における3か月ごとの捕獲数とCPUE

年度	月	捕獲数	TD	CPUE	増減率
R2年度	4-6月	1	472	0.212	-
	7-9月	9	643	1.400	-
	10-12月	17	3,614	0.470	-
	1-3月	8	5,424	0.147	-
	合計	35	10,153	0.345	-
R3年度	4-6月	4	2,614	0.153	28%減少
	7-9月	7	1,464	0.478	66%減少
	10-12月	7	4,088	0.171	64%減少
	1-3月	2	3,064	0.065	56%減少
	合計	20	11,230	0.178	48%減少

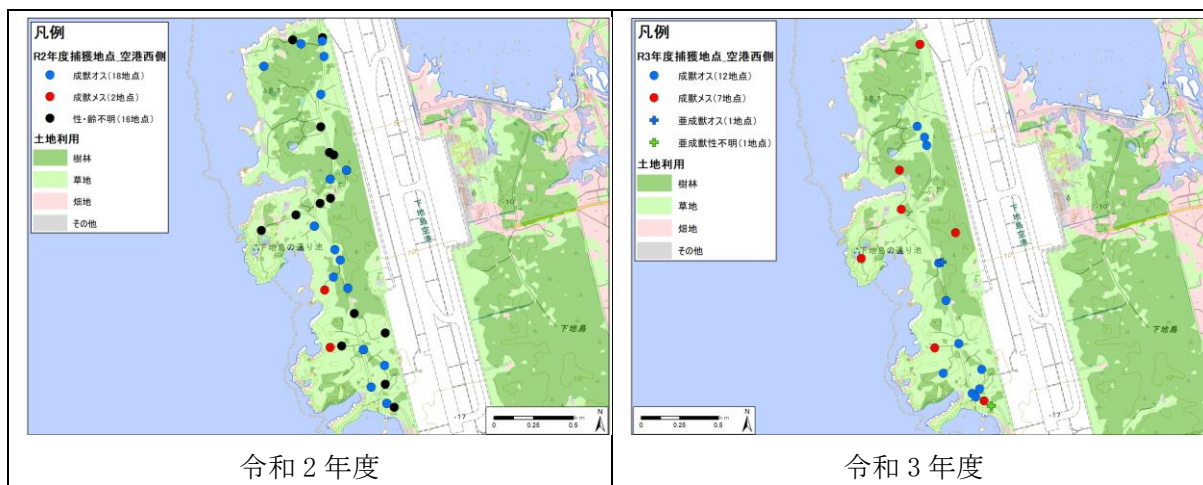


図 5-3 下地空港西側におけるイタチ捕獲地点

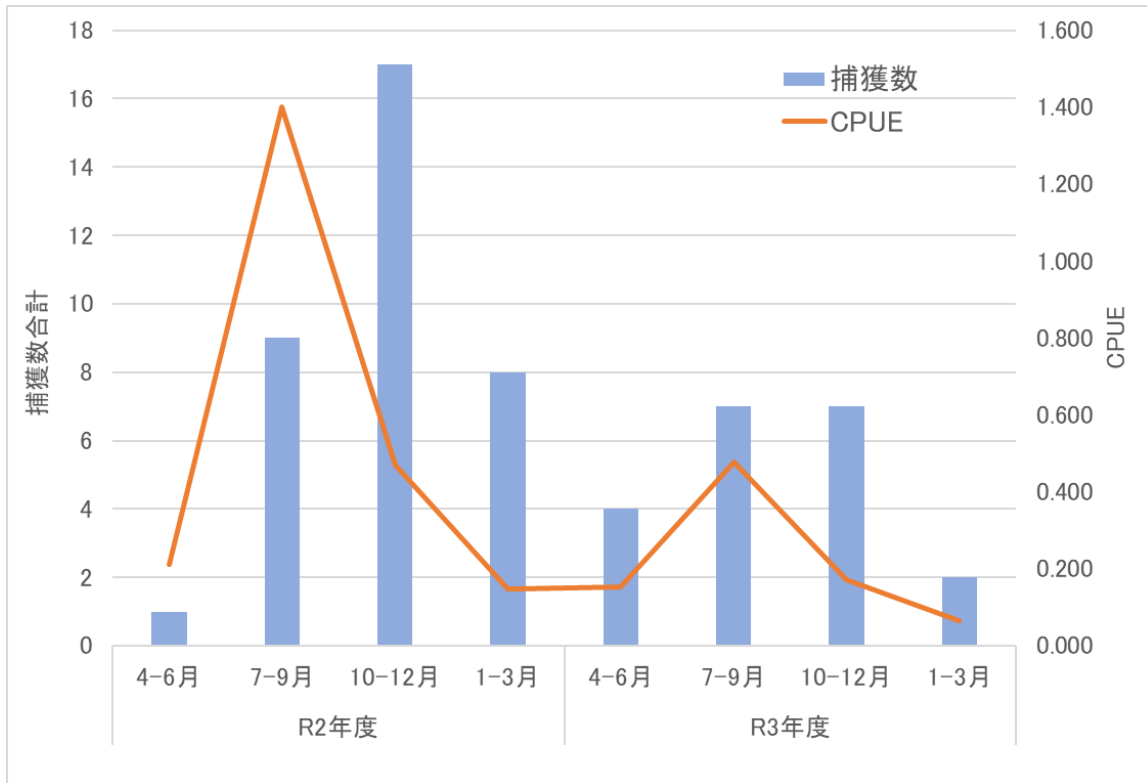


図 5-4 下地空港西側における 3 か月ごとの捕獲数と CPUE の変化

5.3 全域におけるイタチ捕獲数の経年変化

5.3.1 検証方法

下地島および伊良部島での面的に捕獲を開始した令和2年度から令和3年度の捕獲状況を比較した。

5.3.2 検証結果

令和2年度から令和3年度の捕獲状況を比較した結果を以下に示す（表5-3）。

令和2年度では、下地島でDocにより30,459TDをかけて163個体捕獲し、CPUEが0.535、カゴわなで617TDかけて7個体捕獲し、CPUEが1.135となり、合計で31,076TDかけて170個体捕獲し、CPUEが0.547となった。伊良部島でDocにより2,014TDをかけて22個体捕獲し、CPUEが1.092となった。令和2年度の合計では、Docにより32,473TDをかけて185個体捕獲し、CPUEが0.570、カゴわなで617TDかけて7個体捕獲し、CPUEが1.135となり、合計で33,090TDかけて192個体捕獲し、CPUEが0.580となった。

令和3年度では、下地島でDocにより37,638TDをかけて112個体捕獲し、CPUEが0.298、カゴわなで2,189TDかけて12個体捕獲し、CPUEが0.548となり、合計で39,827TDかけて124個体捕獲し、CPUEが0.311となった。伊良部島でDocにより9,079TDをかけて90個体捕獲し、CPUEが0.991となった。令和3年度の合計では、Docにより46,717TDをかけて202個体捕獲し、CPUEが0.432、2,189TDかけて12個体捕獲し、CPUEが0.548となり、合計で48,906TDかけて214個体捕獲し、CPUEが0.438となった。

令和2年度と比較した令和3年度の増減率をみると、下地島ではTDが28%増加し、捕獲数とCPUEがそれぞれ27%と43%減少した。伊良部島ではTDと捕獲数がそれぞれ351%と309%増加し、CPUEが9%減少した。事業全体の合計では、TDと捕獲数がそれぞれ48%と11%増加し、CPUEが25%減少した。下地島及び伊良部島捕獲地域においてイタチの生息密度が減少傾向にあると考えられる。

表 5-3 下地島及び伊良部島における TD、イタチ捕獲数、CPUE の経年変化

年度	わな種	下地島			伊良部島			合計		
		TD	捕獲数	CPUE	TD	捕獲数	CPUE	TD	捕獲数	CPUE
R2	Doc	30,459	163	0.535	2,014	22	1.092	32,473	185	0.570
	カゴ	617	7	1.135	-	-	-	617	7	1.135
	合計	31,076	170	0.547	2,014	22	1.092	33,090	192	0.580
R3	Doc	37,638	112	0.298	9,079	90	0.991	46,717	202	0.432
	カゴ	2,189	12	0.548	-	-	-	2,189	12	0.548
	合計	39,827	124	0.311	9,079	90	0.991	48,906	214	0.438
増減率	Doc	24%増加	31%減少	44%減少	351%増加	309%増加	9%減少	44%増加	9%増加	24%減少
	カゴ	255%増加	71%増加	52%減少	-	-	-	255%増加	71%増加	52%減少
	合計	28%増加	27%減少	43%減少	351%増加	309%増加	9%減少	48%増加	11%増加	25%減少